

決算説明資料

2023年3月期



Listed Company 4241

2023年5月
株式会社アテクト

2023年3月期(第54期) 業績総括

全社連結業績

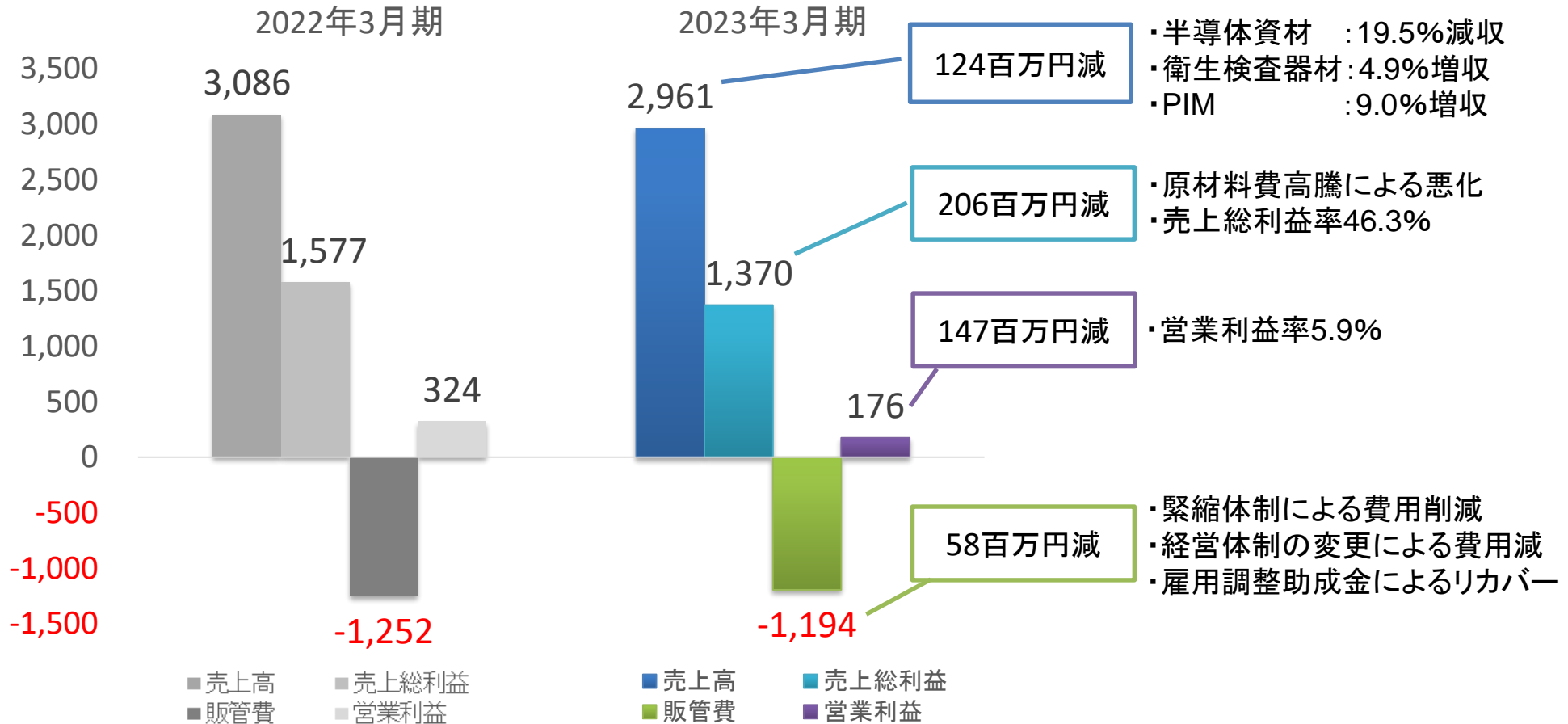
(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減率
売上高	3,086	2,961	▲4.0%
売上総利益	1,577	1,370	▲13.1%
	51.1%	46.3%	
営業利益	324	176	▲45.6%
	10.5%	5.9%	
経常利益	348	193	▲44.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	169	158	▲6.4%

- 衛生検査器材・PIM事業の売上高は創業以来過去最高を更新
- 半導体資材事業の大幅な減収と原材料費、エネルギーコストの高騰によりグループ連結業績は減収減益

2023年3月期収益サマリー

(単位:百万円)

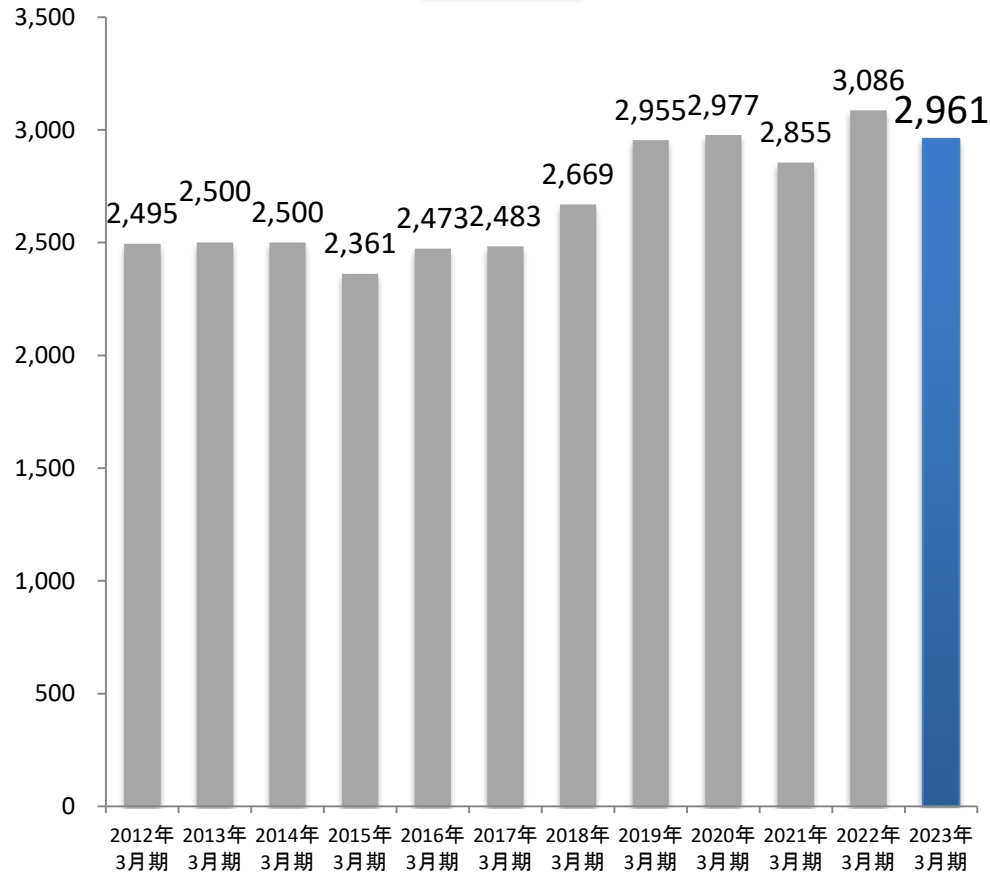


売上減・資源高により原価率が悪化、売上総利益は206百万円減少
販売管理費は58百万円圧縮し、営業利益は147百万円減少となった

全社連結業績推移

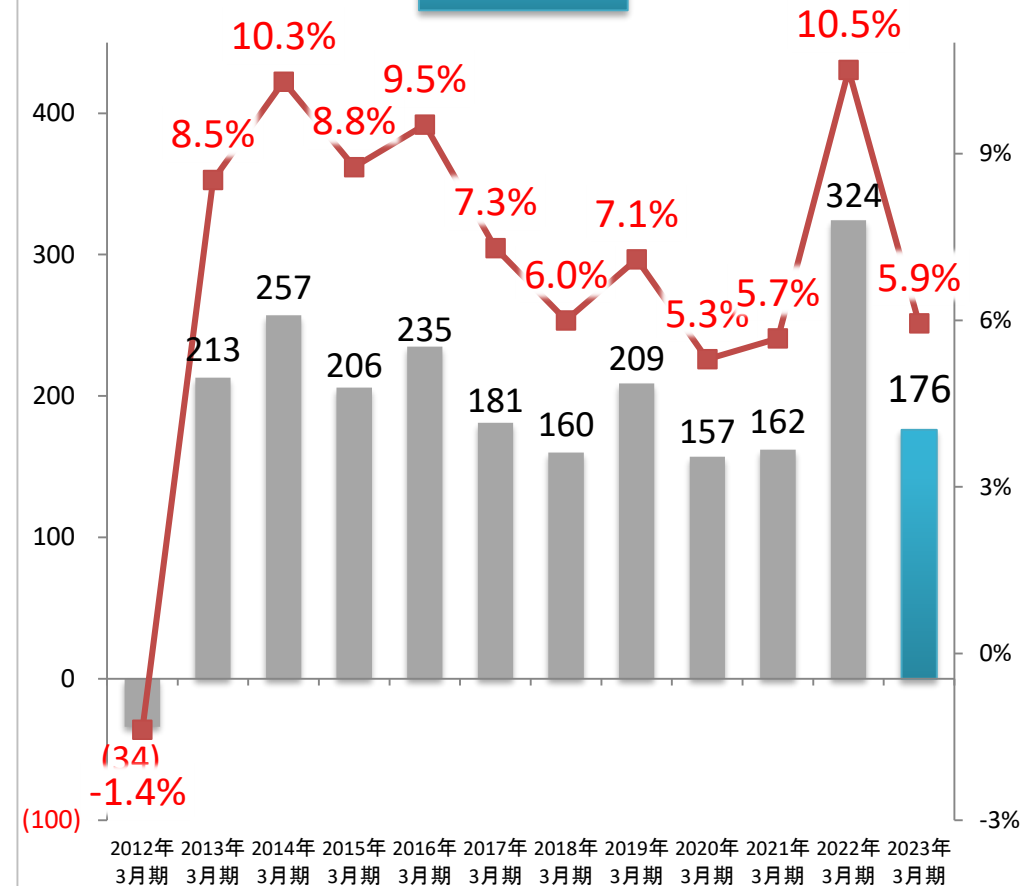
(単位:百万円)

売上高



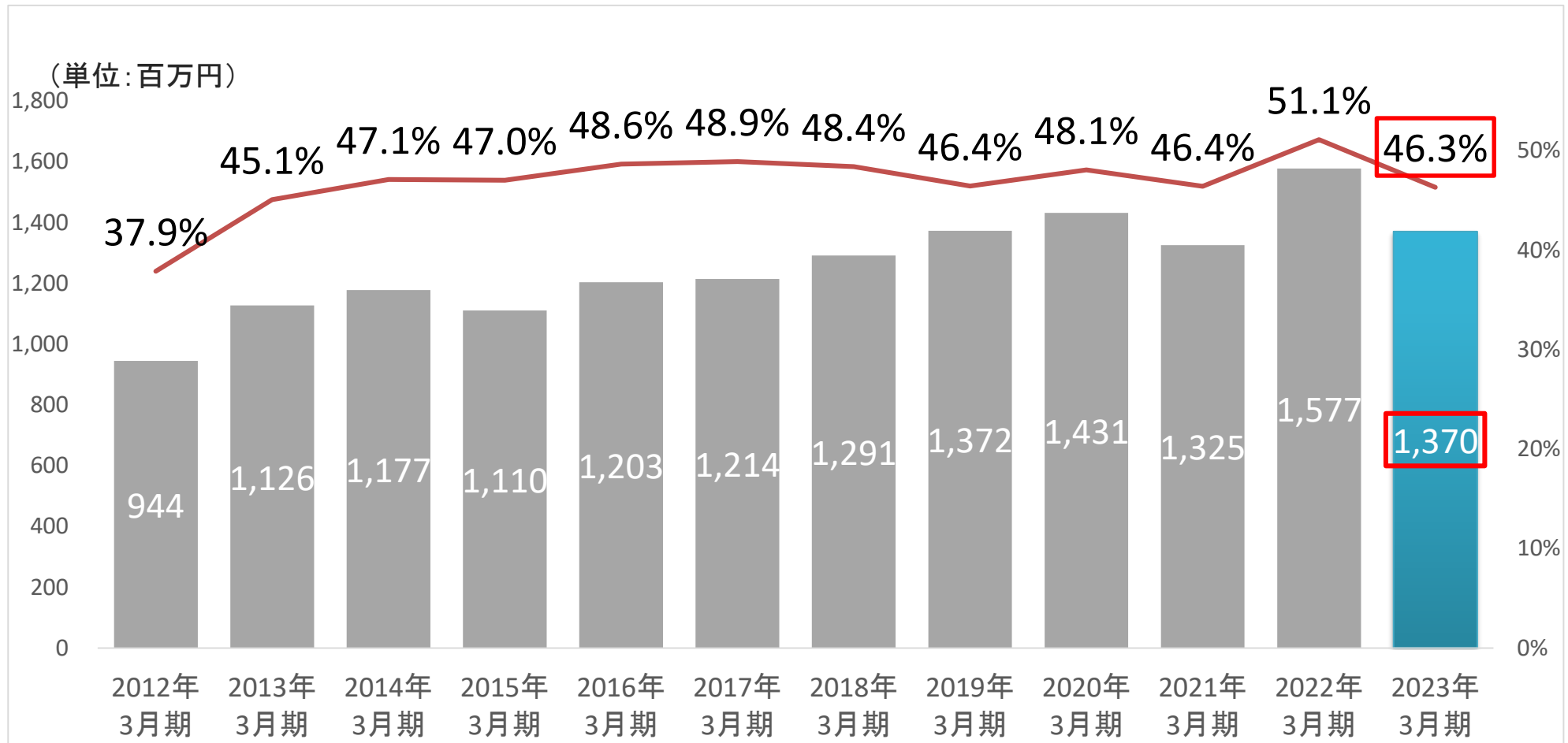
(単位:百万円)

営業利益



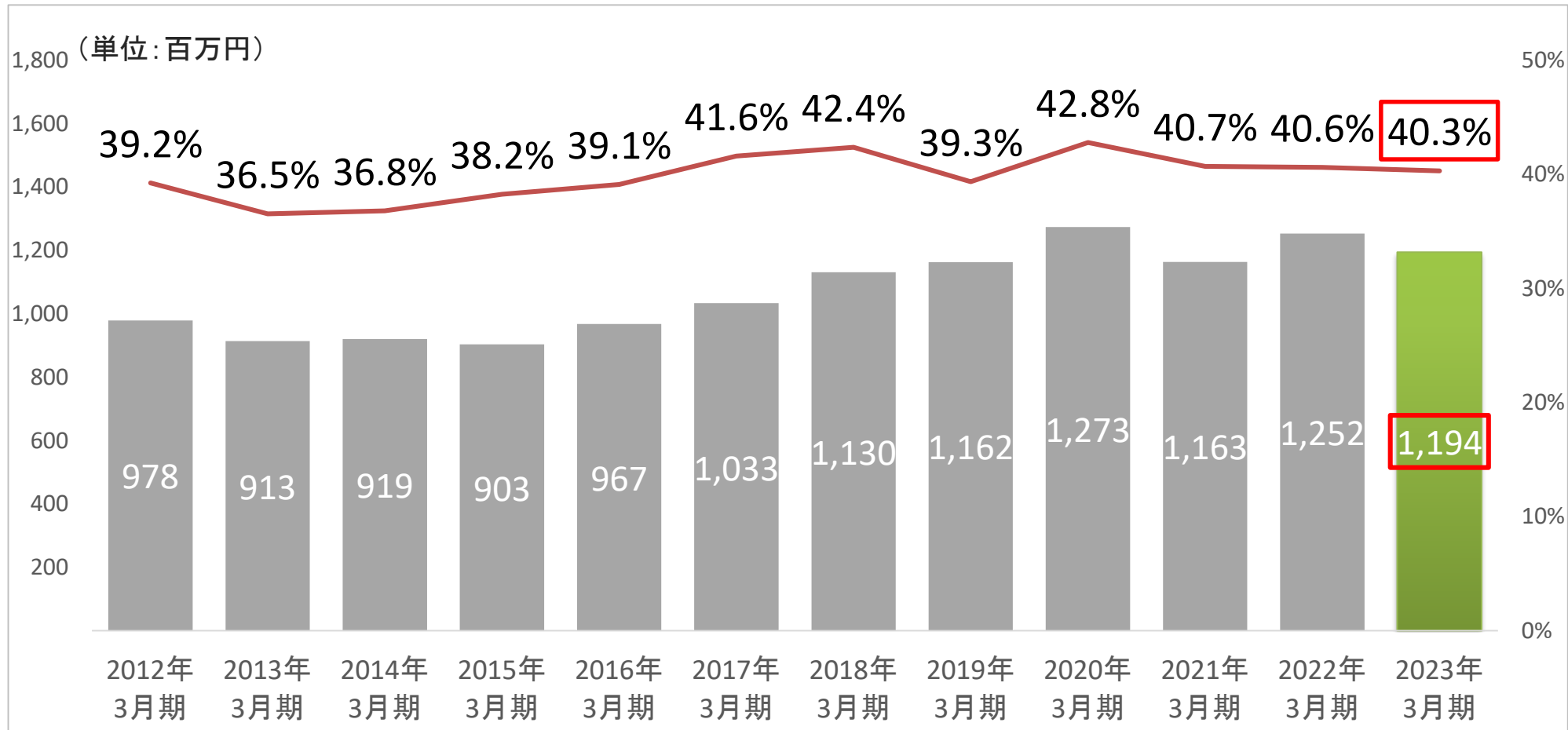
半導体資材事業の減益、原材料費・エネルギーコストの高騰により減収減益

売上総利益推移



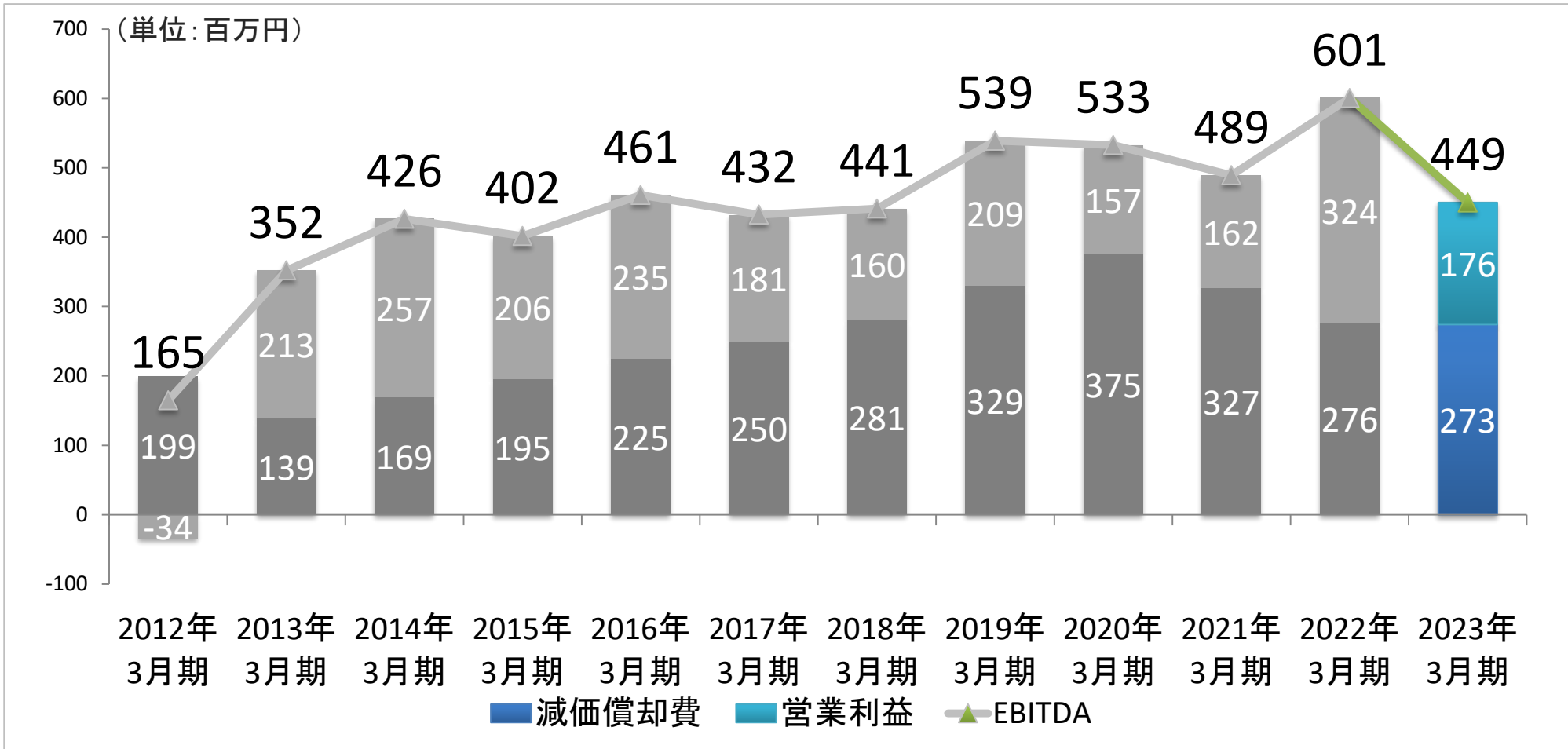
外部要因により前期比では悪化したが、総利益額・率は一定の水準を維持

販売管理費推移



経営体制の変更による費用減、緊縮体制による費用削減等により圧縮

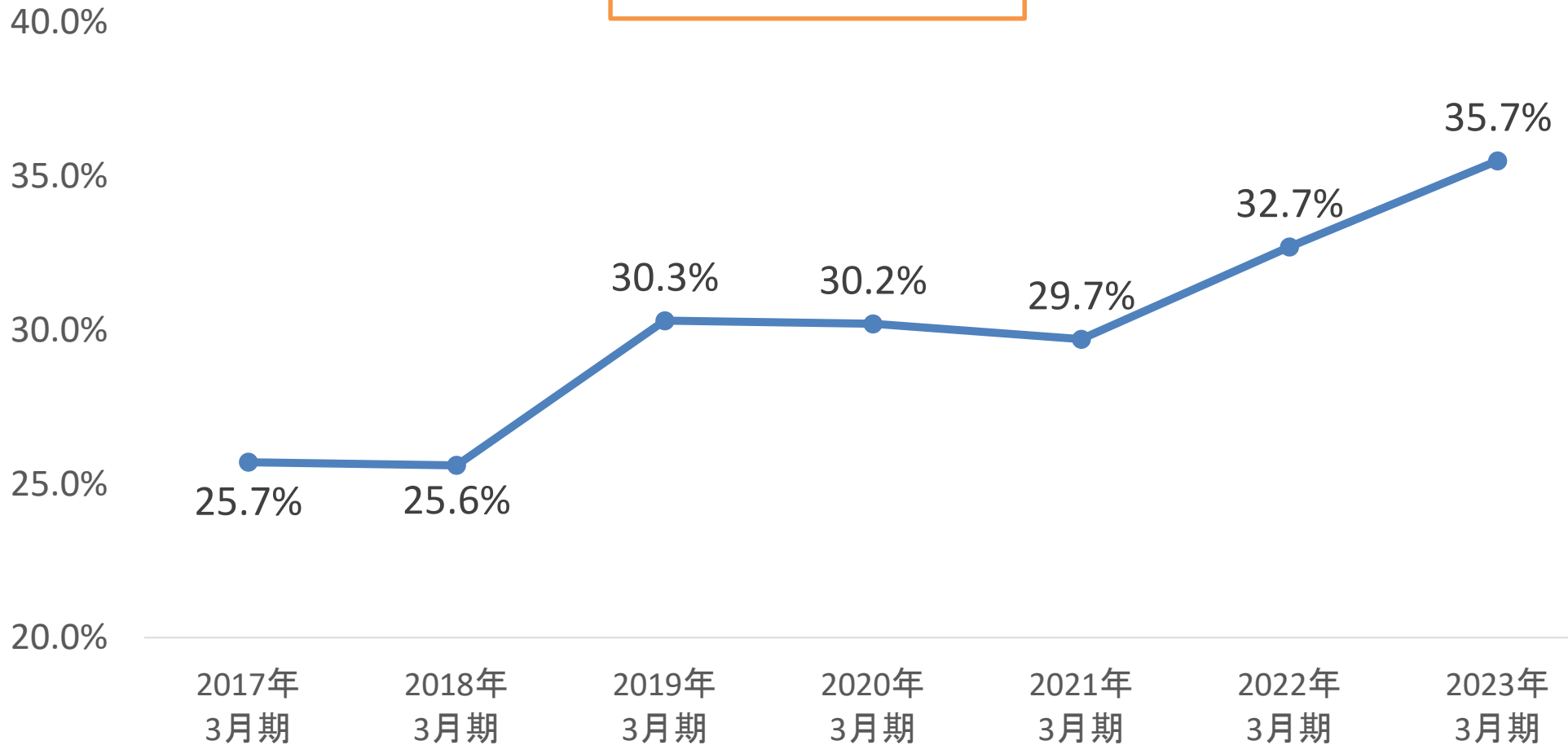
EBITDA：企業収益力



2018年3月期の滋賀移転に伴う大型投資以降の投資抑制により減価償却費は減少、営業利益も減少したことによりEBITDAは減少

財務健全化

自己資本比率推移



滋賀本社工場に移転した2018年3月期からの5年間で約10%の良化

各事業の現況と今後について

1. 衛生検査器材

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな生活様式における食生活が変化する中、内食・デリバリー及びテイクアウト需要は引続き好調に推移
- ②培地製品の売上高は前年比105.3%、シャーレ製品においてはN-NOSE(がん検査)用シャーレの需要増も相まって、年間販売数量は過去最高の8,280万枚
- ③新設した第4の営業拠点である静岡営業所での営業活動が売上伸長に寄与
- ④シャーレの主原料であるPS(ポリスチレン)材価格の高止まりに伴う販売価格転嫁の実施

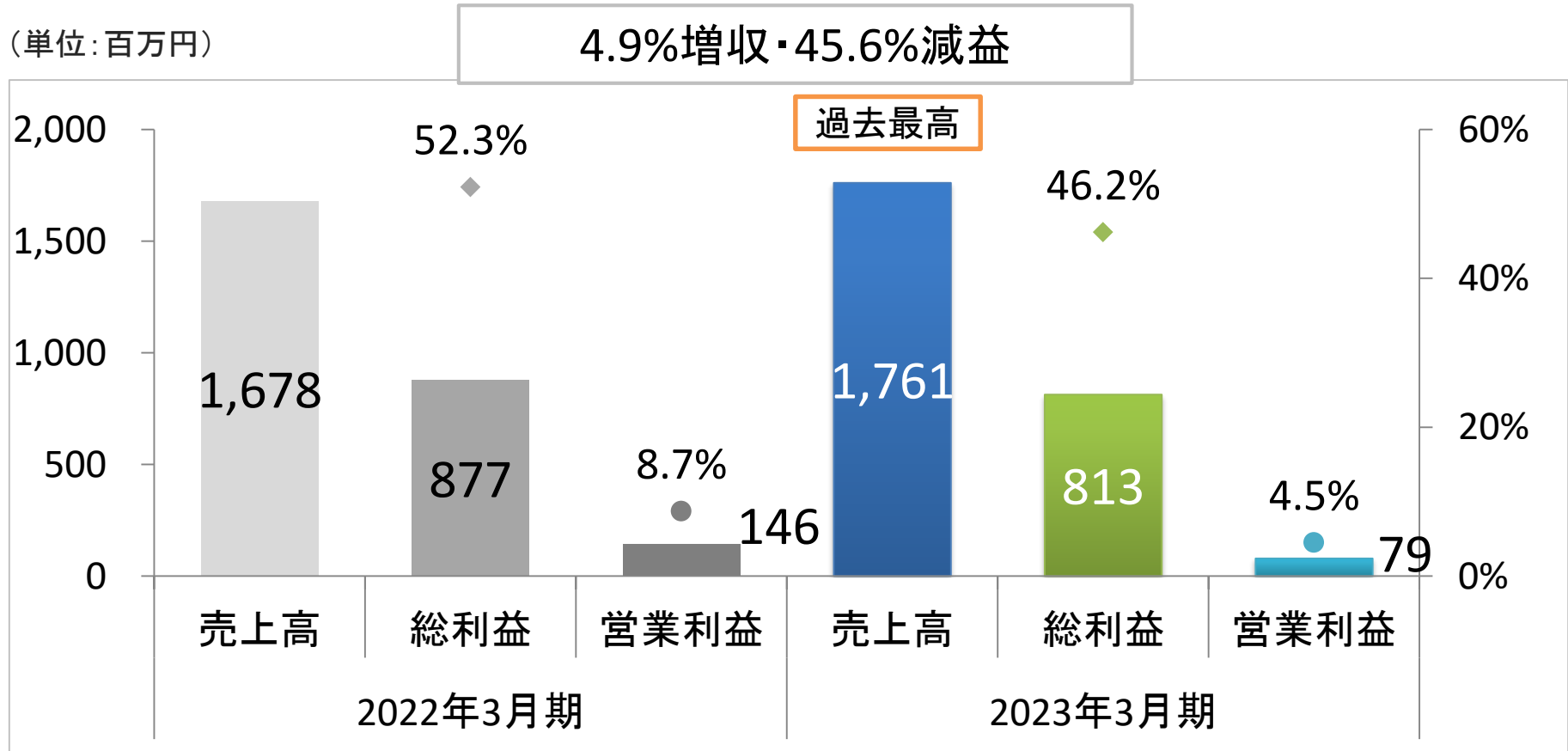
2. PIM

- ①半導体製造装置、産業用ロボット、工作機械の搬送・位置決め等に使用されるボールねじ用部品、セラミックス製CMOSセンサー等に使用される高機能部品の大幅な受注増
- ②取引先起因の諸問題や当社への切り替えに伴う在庫調整により停止していた自動車部品の出荷は2023年6月より再開

3. 半導体資材

- ①巣ごもり特需や世界的サプライチェーンの混乱に伴う過剰在庫の反動により、テレビ需要の世界的な落ち込みが続き、通期販売数量は前期比27.8%減
- ②長期的なパネル在庫の調整もようやく一服感を迎え、当第4四半期3月単月の売上数量は過去最高水準に

1. 衛生検査器材事業

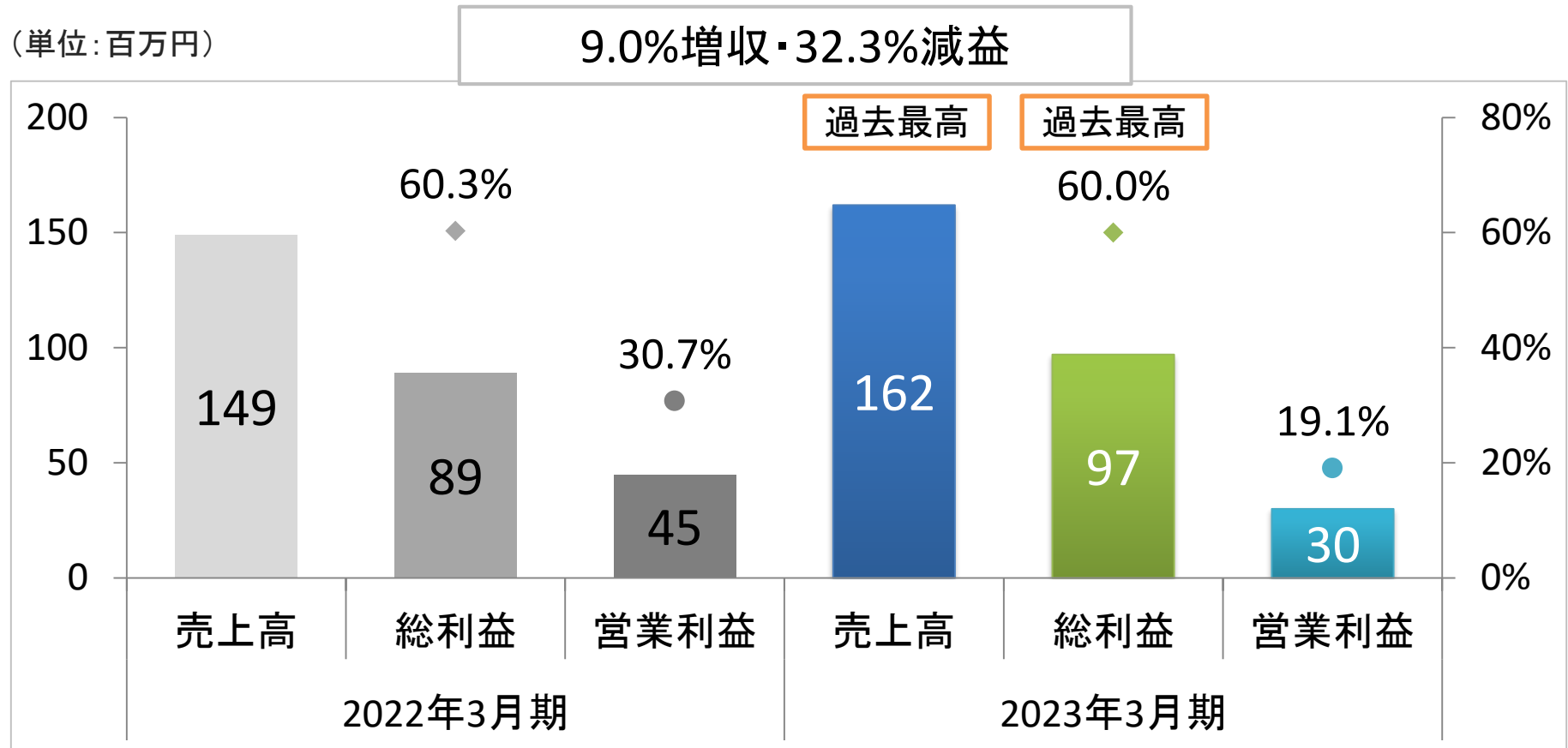


●売上高は過去最高を更新

●PS(ポリスチレン)材の価格高騰の影響により、売上総利益率は悪化

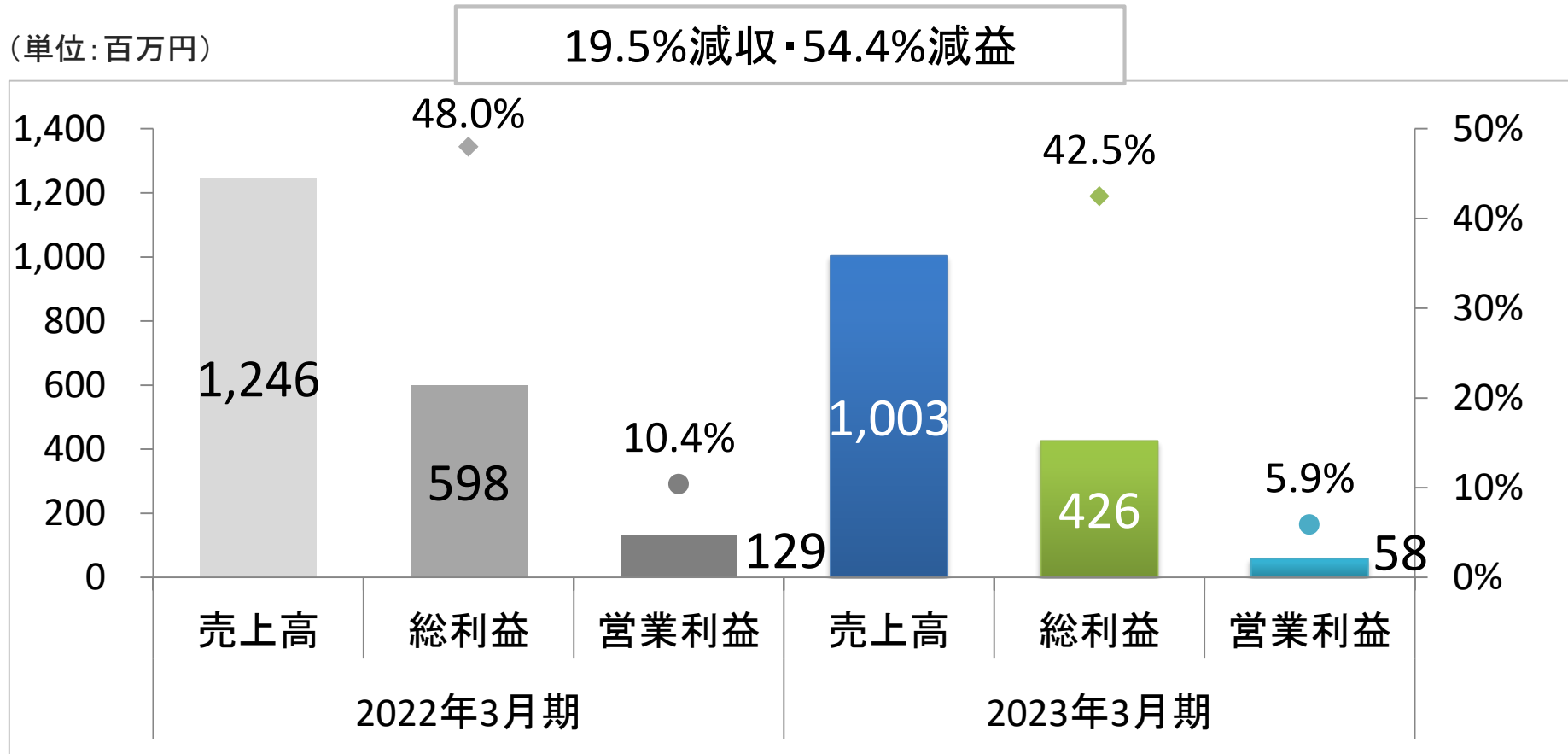
⇒販売価格への転嫁を継続して実施

2. PIM事業



- 産業用ロボット、工作機械の搬送・位置決め等に使用されるボールねじ用部品やセラミックス製のCMOSセンサー等に使用される高機能部品は大幅な受注増
- 自動車用ターボ部品は2023年6月より出荷再開

3. 半導体資材事業



- 通期販売数量は前期比27.8%減
- 長期的なパネル在庫の調整は一服感を迎え、当第4四半期3月単月の売上数量は過去最高水準に

2024年3月期（第55期） 業績見通しについて

2024年3月期事業計画

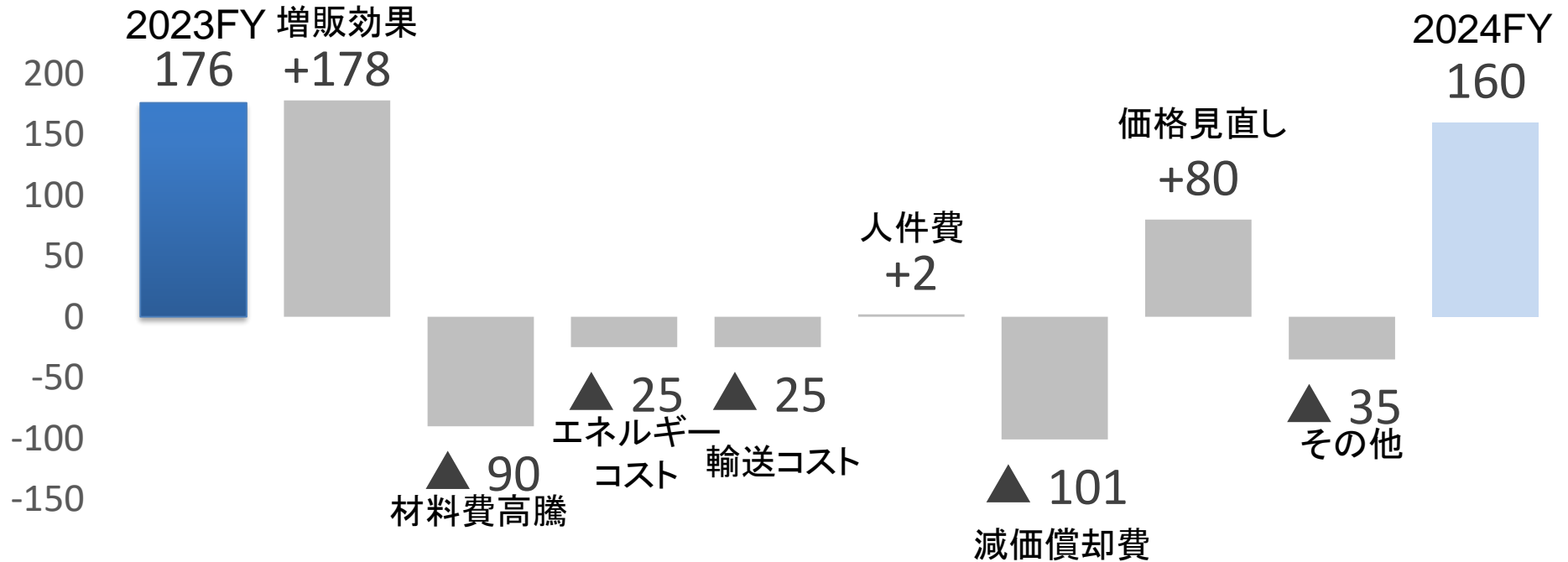
(単位:百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減率
売上高	2,961	3,300	11.4%
営業利益	176	160	▲9.2%
	5.9%	4.8%	
経常利益	193	150	▲22.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	158	100	▲37.1%
配当予想	10円	10円	—

- 売上高は中期経営計画(VISION25/30)達成に向けた成長を継続
- 営業利益は主に原材料の高騰、減価償却費の増加の影響により9.2%減益の見込
- 最終利益は滋賀県の助成金終了、為替の悪化を見込み37.1%減益の見込

2024年3月期収益見込分析

(単位:百万円)



プラス要素

- ・大幅な増販効果
- ・販売価格の見直しによる効果

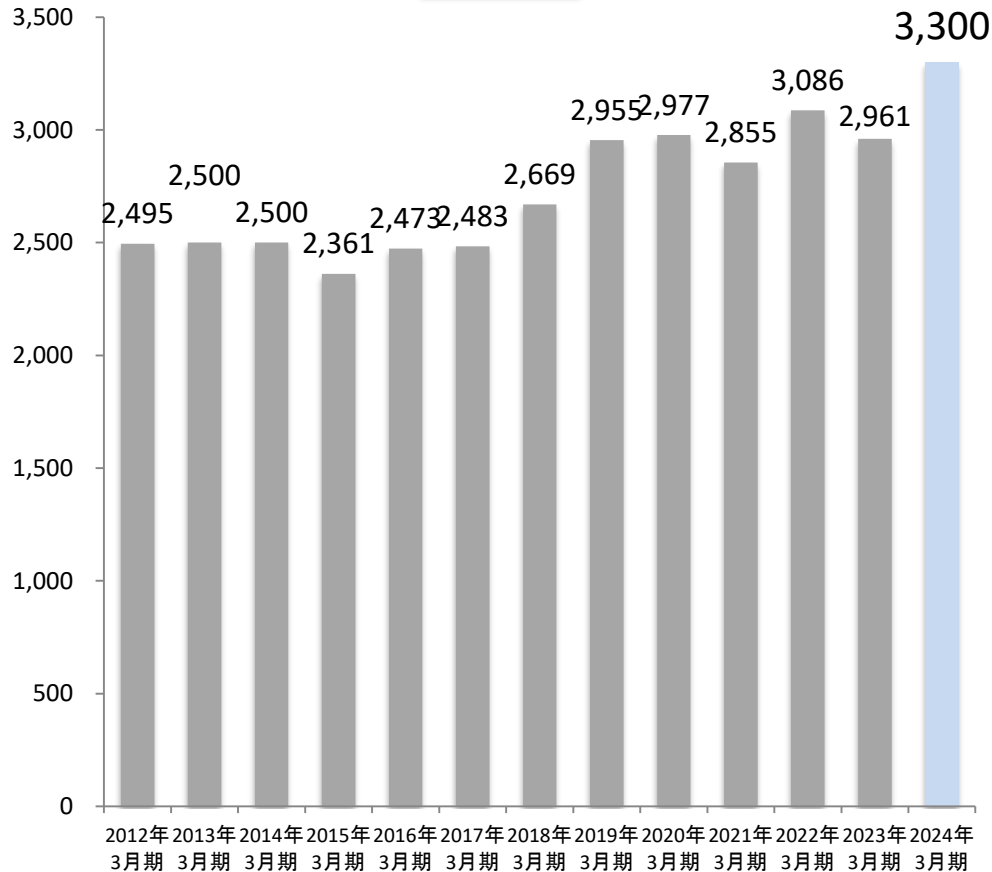
マイナス要素

- ・世界的なインフレによる原材料費、エネルギーコスト等の高騰
- ・自動車部品、HIROTSU向けシャーレ専用ライン、FM-Plate生産ラインの本格稼働開始による減価償却費の増加

全社連結業績推移

(単位:百万円)

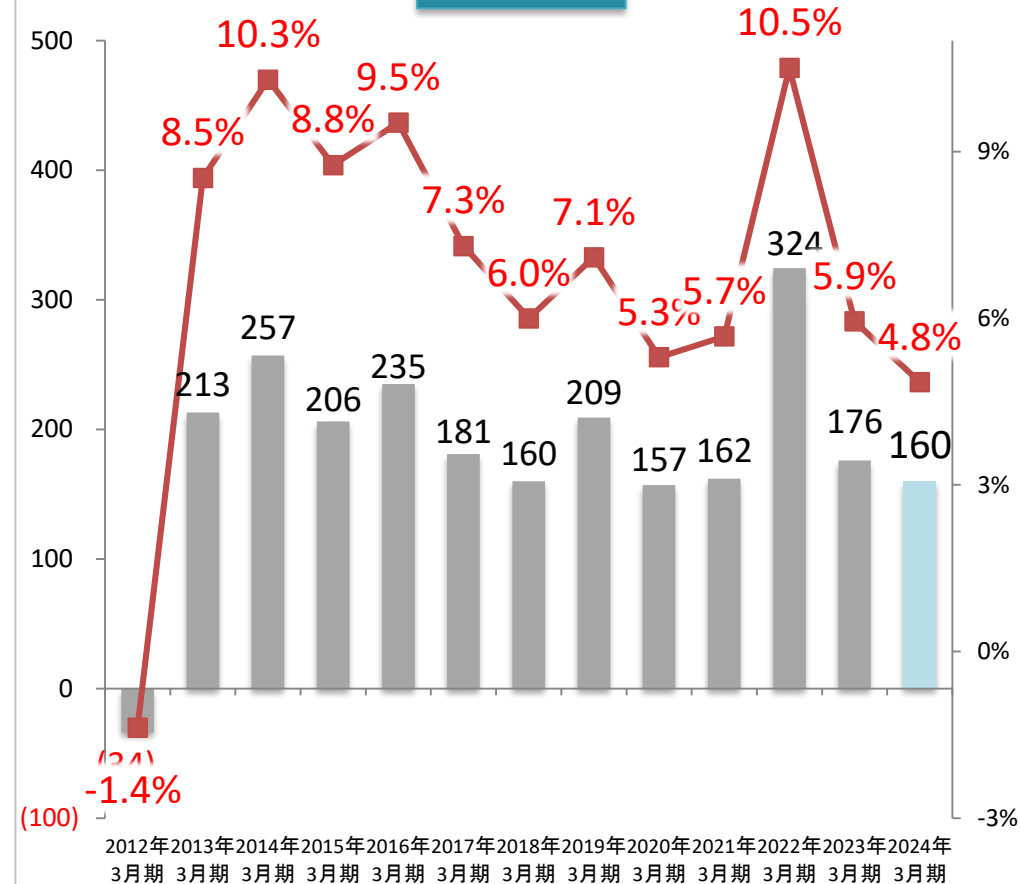
売上高



売上高は創業以来過去最高を目指す

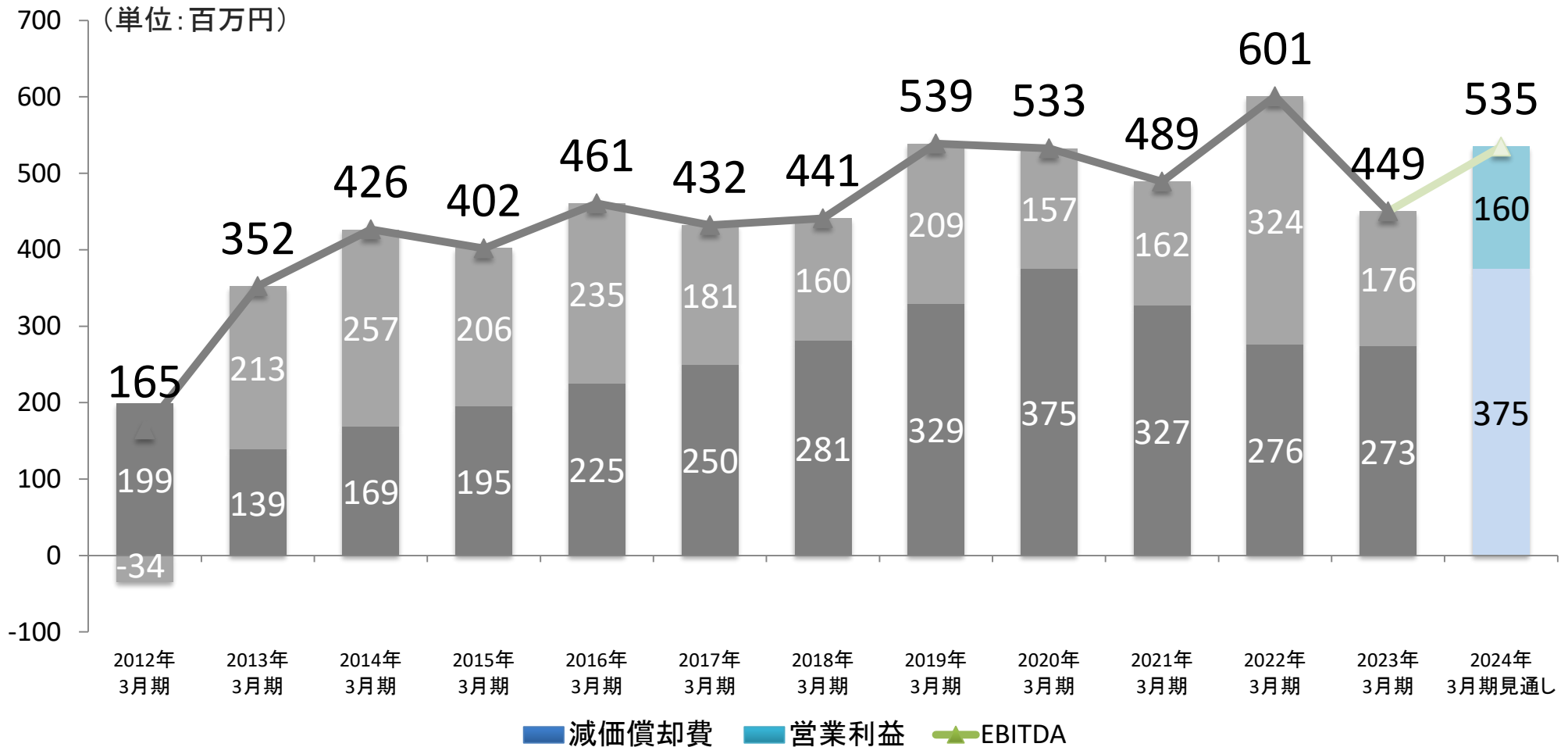
(単位:百万円)

営業利益



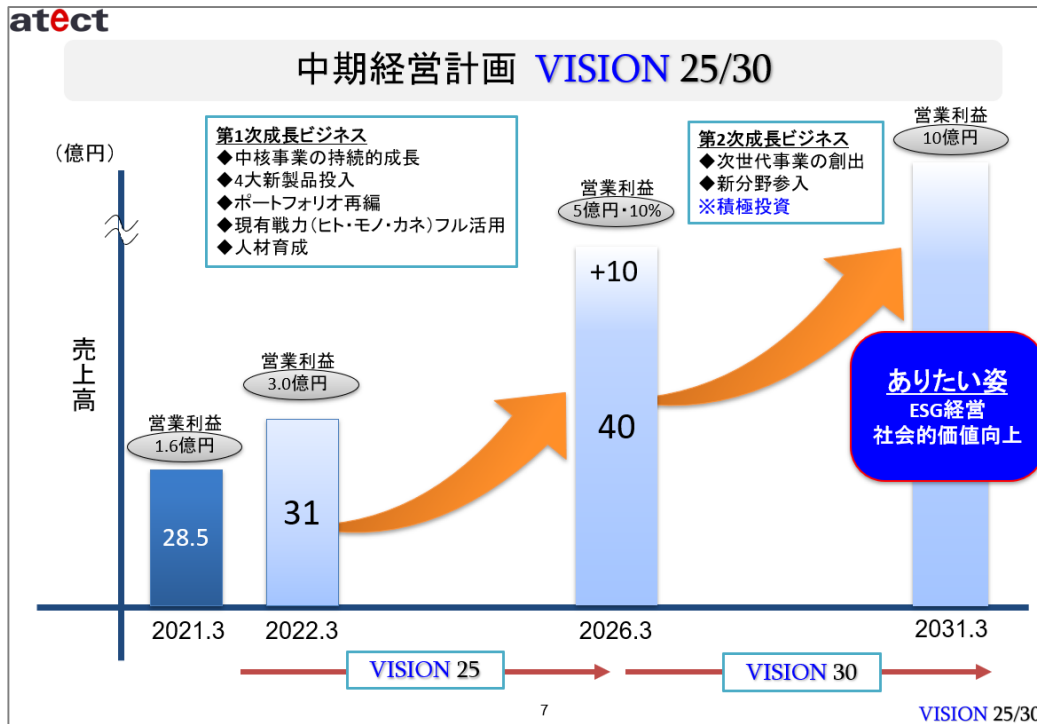
材料費・エネルギーコスト、減価償却費の増加により営業利益は減少見込

EBITDA: 企業収益力

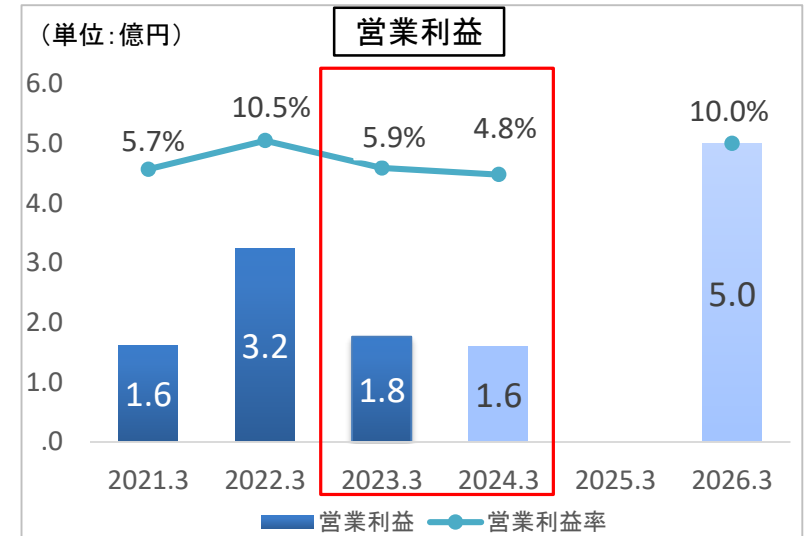
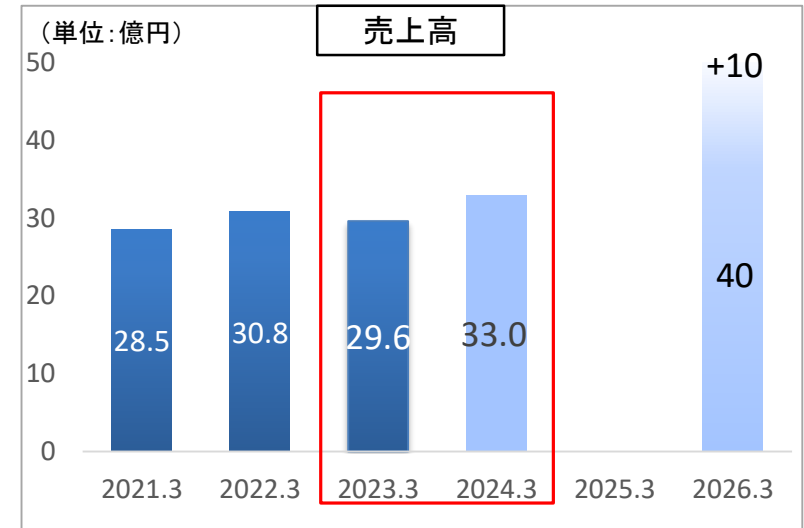


材料費・エネルギーコストの高騰という環境下ではあるが稼ぐ力は復調

中期経営計画 (VISION 25/30) 進捗



2次年度の結果と3次年度の見込



売上高

PIM事業・衛生検査器材事業の成長と半導体資材事業の復調により成長路線への回帰を目指す

営業利益

世界的なインフレによる材料費、エネルギーコスト等の高騰の影響を精査

2024年3月期事業別アクションプラン

1.衛生検査器材事業

- ①アフターコロナに対応した営業活動・生産体制
- ②N-NOSE(がん検査)用シャーレの普及に対応した増産体制
- ③簡易型シート培地における新仕様の開発、量産体制
- ④本社と4営業拠点(東京・大阪・福岡・静岡)からのきめ細かな販売体制

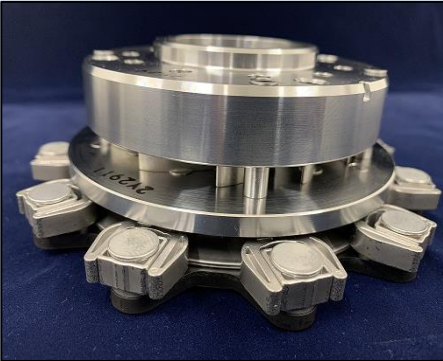
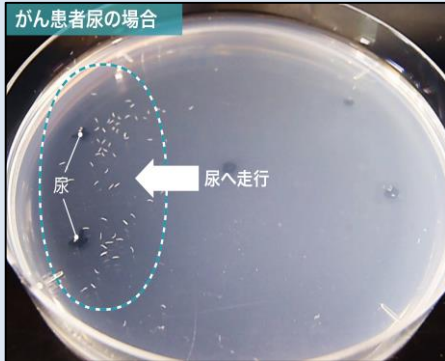
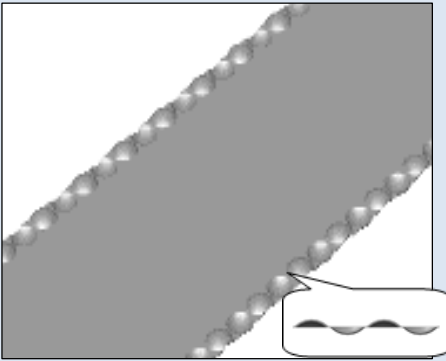

2.PIM事業

- ①4大量産品(ボールねじ用部品／自動車用ターボ部品／直動型ベアリング／セラミックス製CMOSセンサー部品)による売上拡大
- ②高機能部品の新規受注獲得
- ③自動車の電動化を見据えたセラミックス製品の更なる性能・強度の向上

3.半導体資材事業

- ①変化する需要に対応したフレキシブルな生産体制
- ②今後伸長する中国市場への積極的営業活動
- ③COF(Chip on film)用途以外へのスペーサーテープの拡販活動

4大新製品立上げ進捗及び今後の対応

	 <p>がん患者尿の場合 尿へ走行</p>		
<p>ターボ部品</p>	<p>がん検査用シャーレ</p>	<p>ハイエンドテレビ モニター用 両山スペーサーテープ</p>	<p>FM-Plate (簡易型培地)</p>
<p>取引先起因の諸問題や 当社への切り替えに伴 う在庫調整により、受注 が一時的にストップ ⇒2023年6月より出荷 再開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●HIROTSUバイオサイエ ンス向けシャーレの増 販(前期比160%) ●専用ライン稼働に向 け、立ち上げ調整中 	<ul style="list-style-type: none"> ●全出荷数量の20%に 拡大 <p>※FHDに対する消費量 4Kテレビ: 2.7倍 8Kテレビ: 4倍</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ユーザビリティを重視 した新仕様で開発中 ●AOAC認証取得予定 <p>※AOAC: 食品・医薬品・化 粧品等の分析に関する 国際認証</p>

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 経営企画部 IR担当

TEL: 0748-20-3400

E-mail: ir@atect.co.jp